

■参考情報「各部門ノミネート者プロフィール」

【アクティブシニア部門／計3名】

①伊藤 久夫（株式会社アート 代表取締役）

群馬県桐生市で創業 32 年の染色加工業を営む。染色の技術を応用して群馬県特産のシルクから絹タンパク質を抽出する技術を開発、特許化し、シルクの特性を生かした繊維加工から化粧品、医療向けの資材や食品分野にも目を向け、公的研究機関や大学と連携をしながら、研究を重ねている。昨年春から新型コロナウイルスの不活性化商品開発にも注力中。今後も世の中の人に喜ばれ、地域に貢献出来るような価値のある物作りを目指す。

②棚原 安子（山田西リトルウルフ「おばちゃん」こと指導者）

少年野球チーム「山田西リトルウルフ」の“おばちゃん”こと、野球指導者。今から 50 年前、我が子と近所の子どもに声をかけ、少年野球チーム「山田西リトルウルフ」を夫とともに結成。発足当時は少なかった部員も、今では 150 人を超え、たくさんの子もたちが在籍するチームに。卒部生は 1,200 人を超える。81 歳となった現在も、毎週末、グラウンドで子どもたちにノック、バッティング指導と忙しく走り回っている。創部当時より野球のみならず、社会に出てたくましく生きていける子どもを育てたいとの思いから「自分のことは自分です（自分の着たユニフォームは自分で洗濯する。自分が持ってくるお茶は自分で沸かし用意する。など）」を指導方針として、健全な心を育てることをモットーに活動してきた。2020 年には、今までの活動で培ったノウハウをまとめ、子育て本『親がやったらあかん』として出版。

③波多野 信子（NPO 法人循環生活研究所 会長 理事）

堆肥づくり 50 年。幼いころから虫に夢中で顕微鏡を覗く。八百屋雑貨店経営や自動車登録業、建設業の経理などを経て、ダンボールコンポストを初心者でも取り組みやすいよう研究し、2000 年から普及に取り組む。同時に、できた堆肥で野菜を育て、菜園講座の講師となる。野菜を使った加工所を 2014 年に開所。趣味と実益を兼ねた NPO 法人循環生活研究所の仕事にこれまでのすべてを活かして「今がいちばん楽しい」と語る、何事にも興味をもち成長し続ける 70 代。

【ふるさと貢献部門／計5名】

①秋元 里奈（食べチョコ代表（株式会社ビビッドガーデン 代表取締役社長）

慶應義塾大学工学部を卒業した後、2013 年に株式会社ディー・エヌ・エーへ新卒入社。合計 4 部署を経験。2016 年 11 月に農業分野の課題に直面し株式会社ビビッドガーデンを創業。2017 年 5 月にこだわり生産者が集うオンライン直売所「食べチョコ」を立ち上げる。リリース 3 年で認知度／利用率 No.1 の生産者特化 EC に成長。オンオフ問わず 365 日 24 時間着ている「食べチョコTシャツ」がトレードマーク。

②児玉 光史（株式会社地元カンパニー 代表取締役）

東京大学農学部卒。長野県上田市のアスパラ農家に生まれ、大学卒業後は株式会社電通国際情報サービスにてシステムセールスに従事。退職後、東京で暮らす農家の跡継ぎコミュニティを立ち上げ、地域の産品を都内で実験的に販売。地域産品の流通を活性化すべく「地元産品限定のカタログギフト」を考案。自身の結婚式で「地元産品限定のカタログギフト」を引き出物として配布し好評だったことをきっかけに、株式会社地元カンパニーを設立。

③後藤 寛勝（Flags Niigata 代表／プロデューサー）

1994 年、新潟市生まれ。18 歳から若者と政治をつなげる活動を始める。2016 年、NPO 法人の代表理事として政治教育カリキュラム「票育」を立ち上げ、3 つの自治体で事業化。2017 年、博報堂 DY メディアパートナーズグループ株式会社 ONESTORY に入社。2020 年 5 月、新潟出身の 20-30 代をつなぐコミュニティプラットフォーム「Flags Niigata」を設立。地域資源の再編集と発信、価値創造に取り組んでいる。

④佐別當 隆志（株式会社アドレス 代表取締役社長／一般社団法人シェアリングエコノミー協会 常任理事）

問い合わせ先 PERSOL Work-Style AWARD PR 事務局（プラチナム内）新田・佐藤・福田
TEL : 03-5572-7351 FAX : 03-5572-6075 MAIL : persol_workstyleaward_pr@vectorinc.co.jp

2000年株式会社ガイアックスに入社。事業開発を経て、2016年一般社団法人シェアリングエコノミー協会を設立し事務局長に就任。2017年内閣官房IT総合戦略室よりシェアリングエコノミー伝道師を拝命。総務省、経産省のシェアリングエコノミーに関する委員を務める。定額制の多拠点コリビングサービスを展開する株式会社アドレスを設立し、代表取締役社長に就任。2020年シェアリングシティ推進協議会代表に就任。

⑤高橋 和良（一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト 代表理事）

2011年10月より、大船渡市末崎町の西館仮設住宅・集会所にて、商品を生み出すために被災者4人と共に特訓に入る。2012年8月2日、陸前高田市に新築工房をオープン、経営をしている高橋家3人と被災地域から8人、合計11人で新規に事業をスタートした。2018年5月1日、大船渡市茶屋前の復興特区キャッセン8街区に拡張移転し今日に至る。事業は樫やワカメを素材とした商品、岩手県産材を素材とした木工品の製造販売を行っている。2020年7月より一般社団法人レッドカーペット・プロジェクトを成立し代表理事に。被災未利用土地に椿畑を作る活動を始めた。

【パラレルキャリア部門/計5名】

①黄 皓（ミラーフィット株式会社 代表取締役）

中国生まれ、中国育ち。日本で一番日本語のうまい中国人を目指して日々精進。

大手総合商社を脱サラ後、現在、中国において国際貿易・物流会社を運営する他、日本ではスマートミラーを使って自宅で本格的なオンラインフィットネスを提供するミラーフィット株式会社と、定額29,800円でパーソナルトレーニング、セルフエステ、有酸素マシン使い放題サービスのKARADA BESTAを運営するRILISIST株式会社を運営。2020年には『パチエロレット・ジャパン』シーズン1に参加。

②瀬崎 真広（NPO法人ZESDA 理事）

政府系金融機関に勤務しつつ、社外でNPO法人を運営。突出した強みを持たない自分だからこそ、社会人の誰もが一步を踏み出し自分らしく輝ける仕組みづくりができると考え、自らをモデルケースとし、都会のサラリーマンが地方創生にて活躍しキャリア開発するための支援を行う。コロナ禍では町役場のワーケーションコンサルなどを受注しオンラインで仲間と共創。令和2年度農林水産省「漁村農村の宝」関東農政局選定個人優良事例。

③西村 創一朗（株式会社HARES CEO 複業研究家/HR マーケター/NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事）

複業研究家/HR マーケター。2011年に株式会社リクルートキャリアに入社後、複業で「二兎を追って二兎を得られる世の中を創る」をミッションに株式会社HARES（ヘアーズ）を創業。しばらくは会社員兼経営者として活動後、2017年に独立。19歳で学生結婚し、現在3児（12歳/9歳/4歳）の父。NPO法人ファザーリング・ジャパンの最年少理事も務める。著書に『複業の教科書』（ディスカヴァー・トゥエンティワン刊）がある。

④山野 智久（アソビュー株式会社 代表取締役 CEO）

明治大学法学部法律学科卒。新卒にて株式会社リクルートに入社。2011年アソビュー株式会社を設立。アクティビティ・体験教室・レジャーチケットなど「遊び」の予約ができる日本最大級のマーケットプレイス「アソビューー!」、思い出をプレゼントする「asoview! GIFT」などWEBサービスを運営。観光庁アドバイザーボード・各種委員を歴任するなど多方面で活動。

⑤行武 亜沙美（コミュニティマネージャー/ワークキャリア事業 マネージャー/コワーキングコミュニティ hinode 店長）

新卒でインテリアショップ店員として勤務し、結婚後は専業主婦に。パートタイマー時代に「発信力をアップさせる"ゼロからのやさしい図解"」を執筆し、SNSで話題になったことをきっかけに独立。フリーランス、会社員を

経てパラレルキャリアを築く。現在は複数企業に所属しながらキャリアスクール、コワーキングスペース、オンラインサロンのマネージャーを担当。フリーでシェアハウス運営や講師業も行っている。

【ダイバーシティ部門／計4名】

①海音（モデル）

5歳から12歳までキッズモデル、ジュニアモデル。10歳から12歳までアイドル活動。キッズブランドのカタログモデル、雑誌、ファッションショーなど多数出演。12歳の時に多発血管炎性肉芽腫症になり、右足を切断。2019年18歳でモデル活動を再開する。2020年切断ヴィーナスショーに参加。2021年切断ヴィーナスチャリティカレンダーモデル出演。モデルの活動再開がTV番組や新聞などに多数取り上げられる。

②海老原 周子（一般社団法人 kuriya 代表理事／文部科学省 外国人児童生徒等教育アドバイザー／東京都教育委員会 スーパーバイザー／カタリバ・パートナー）

ペルー、イギリス、日本で育つ。慶應義塾大学卒業後、外務省傘下の独立行政法人国際交流基金や国連機関にて勤務。2009年より外国ルーツの高校生を対象にキャリア教育や居場所づくりを行う。10年以上の支援活動を通じて、300人以上の外国ルーツの若者と接した経験をもとに、政府の外国人材受け入れなどに対する政策提言も実施。自らも社会のマイノリティとして、見えない障害と言われる発達障害を抱えつつ、異なる違いを強みに活かし、楽しく社会を変えていくことを目指している。2016年にはこれからの社会を変える若手リーダーとして、EU主催「Global Cultural Leadership Programme」に日本代表として選抜。

③小島 由香（Founder FOVE, Inc.）

株式会社 FOVE 創業者。目の動きで仮想世界を自在に操作する視線追跡型 VR 用ヘッドセット「FOVE」を開発。起業前は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント（SIE）にてプレイステーション向けソフトのプロデュースに携わる。「Forbes 30 Under 30 Asia」「日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー」「経済産業省実用化大賞」など受賞。

④小林 大晃（小林農園）

神奈川県横須賀市生まれ。関東でも有数の農業生産地である、神奈川県横須賀市での農業を家族と営む。三方を海に囲まれた、ミネラル豊富で温暖な地域で生産される野菜や果実は、多くの人に愛されている。飲食店とコラボした食品や農福連携など、多様な農業のあり方も展開中。

【グローバルチャレンジ部門／計3名】

①鬼島 一彦（MTCJAPAN 取締役 経営者／Hinomaru Noodle 代表取締役 経営者／Choudo Ramen ブランドシェフ 共同経営者／Ennichi（日式カフェ居酒屋）共同経営者）

山形市出身。現在、ロシアのサンクトペテルブルクに居住。看護師として関東の医療現場で7年従事しつつ、スペイン、ウクライナ留学を経て2012年にロシアで日露ビジネスコンサル会社を起業。医療分野、飲食分野を中心に官庁系、民間企業のロシア進出支援を手がける。

②ゾエルゲル・ニコラ（株式会社ちん里う本店 常務取締役）

2000年より日本に滞在。外資系企業でのキャリアを経て、2012年に妻をサポートするため、明治4年創業から続く梅干の生産者で、当時同家の5代目が経営していた、ちん里う本店で働くことを決意。また同年、日本の老舗企業が海外で商品を販売するためのウェブショップ「NIHON ICHIBAN」を立ち上げ。2020年までに150のサプライヤーから100カ国以上に向けて6,000商品（食品、工芸品、デザイン品）を販売。アメリカ、南アフリカ、ドイツ、北欧の再販業者との販売パートナーのネットワークも構築。ヨーロッパでの成長をさらにサポートするため、エストニアに「CHINRIU HONTEN EUROPE」を設立。

問い合わせ先 PERSOL Work-Style AWARD PR 事務局（プラチナム内）新田・佐藤・福田

TEL : 03-5572-7351 FAX : 03-5572-6075 MAIL : persol_workstyleaward_pr@vectorinc.co.jp

③原 ゆかり（株式会社SKYAH 代表取締役／ガーナ NGO 法人 MY DREAM. org 共同代表）

「真に持続可能な開発」を目指し、活動を展開。大学卒業後、外務省、三井物産、アフリカ企業勤務を経て、株式会社SKYAHを設立。並行して2012年より、10カ年計画で寄付からの卒業を目指すガーナ NGO 法人 MY DREAM. org を運営。SKYAHは、アフリカ各国のメーカーが手がける高品質商品をキュレート、発信するとともに、日本企業のアフリカ事業開発や進出支援を手がける。Forbes Japan 2016「世界で闘う『日本の女性』55」選出。人間力大賞2020 外務大臣奨励賞受賞。

【ネクストキャリア部門／計6名】

①岩崎 恵子（日本美腸協会 エグゼクティブ認定講師／神奈川 ME-BYO スタイル アンバサダー）

子どもの頃から腸が弱く、ストレスがかかるとお腹を壊し、日常的な努力をしても結果が出せない事から自分に對しての自信が持てずにいた。薬を飲んでもコントロールができなくなった時、日本美腸協会と出会い、食事や生活習慣から体質改善をすることができた。現在、腸もみサロンを経営。セミナーでは腸の大切さや体質改善の方法を伝えている。2020年よりオンラインにて腸の講師の育成・県からの依頼のセミナー・企業への健康経営プログラムなども行っている。

②小谷 博子（サクラキッチン オーナーシェフ）

外資系航空会社の客室乗務員として世界の食に触れる中、和食の素晴らしさを再認識し、食のプロになる事を決意し帰国。福祉施設の現場栄養士をしながら管理栄養士を取得する。食専門チャンネルのプロデューサーとなり、数々の料理番組を制作。2012年に夫と共にサクラキッチンを開業。近隣野菜や季節の食材を使い地域に密着したレストラン。毎日通っても飽きない料理を作り続けている。

③寄本 晋輔（バリュエンスグループ グループ CEO／バリュエンスホールディングス株式会社 代表取締役社長／デュアルキャリア株式会社 代表取締役社長）

1982年、大阪府出身。高校卒業後、ガンバ大阪へ入団するも、3年で戦力外通告を受ける。引退後、父が経営していたリサイクルショップで経営を学び、2011年、株式会社SOU（現バリュエンスホールディングス株式会社）を設立、2018年3月には東証マザーズへの株式上場を達成。2020年8月期はコロナ禍の中増収。現在も海外展開強化などの業容拡大のほか、アスリートのデュアルキャリア採用など新しいはたらき方の提案も行っている。

④戸塚 俊介（HIRED 株式会社 代表取締役 CEO）

「転職と副業のかけ算」の著者。1987年長野県生まれ。新卒で地方ホームセンターへ入社後、リクルートやSMS、上場ベンチャーなど複数社に転職。転職や副業に関するテーマを中心に発信し、Twitter フォロワー数は12万人超。2019年に発売した書籍はベストセラーとなった。

⑤三原 菜央（株式会社スマイルバトン 代表取締役）

株式会社スマイルバトン 代表取締役／IU 客員教員。1984年岐阜県出身。大学卒業後、8年間専門学校・大学の教員をしながら学校広報に携わる。その後ベンチャー企業を経て、株式会社リクルートライフスタイルにて広報PRや企画職に従事。「先生と子ども、両者の人生を豊かにする」ことをミッションに掲げる『先生の学校』を、2016年9月に立ち上げる。2020年3月にボードレス・ジャパンに参画し、株式会社スマイルバトンを創業。著書に「自分らしく働く パラレルキャリアのつくり方（秀和システム）」。

⑥横尾 祐介（クックパッド株式会社 コーポレートブランディング部 部長／クックパッドの学び支援 総合プロデューサー／クリエイティブクッキングバトル 代表）

大手電機メーカーを経て、トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社にて複数のブランドマネージャーを歴任。コンフォートブラジャーの先駆けとなった「スロギー」など数々のヒットを企画。現在はクックパッドにて料理の価値のリブランディング活動を行う。フードロス为主题にした「クリエイティブクッキングバトル」や、中高生に向けた「料理×SDGs」の授業など、社会課題を料理の観点から捉えた企画を生み出している。

問い合わせ先 PERSOL Work-Style AWARD PR 事務局（プラチナム内）新田・佐藤・福田
TEL : 03-5572-7351 FAX : 03-5572-6075 MAIL : persol_workstyleaward_pr@vectorinc.co.jp

【キャラクター部門／計3名】**①ガチャピン（「ポンキッキ」シリーズ）**

南の島で生まれた恐竜の子ども。5歳。なかよしのお友達は雪男の子どものムック。スポーツが得意で陸・海・空、さまざまなスポーツにチャレンジしている。両手の手首についているボールはいろんな挑戦や冒険をするときに勇気と力を与えてくれる「エネルギーボール」。近年はYouTubeクリエイターとしても活躍の場を広げており、ダンスや歌、料理などムックとともに日々さまざまな動画制作にチャレンジしている。

②鳴野 ナギサ（「家政夫のナギサさん」）

製薬会社のMRとして働くキャリアウーマンの相原メイは、仕事は誰よりもできるのに家事が全くできないアラサー独身女性。そんな彼女の散らかり放題の部屋に、突然見知らぬおじさんが現れた！その正体は、全ての家事を完璧にこなすスーパー家政夫・鳴野ナギサ。ひょんなことからナギサさんを家政夫として雇うことになったメイは、彼の持つまるでお母さんのような“包容力”と“温かさ”、そして“癒やし”に触れ、いつしかナギサさんの存在に救われていく。

③ペコちゃん（「不二家」）

1950年（昭和25年）、不二家の店頭人形としてデビューした、明るく元気でお菓子が大好きな“永遠の6歳”の女の子。チャームポイントはほっぺにぺろりと出している舌。戦後の荒廃した街に笑顔届けたいという思いを胸に店頭に立って早71年。ロングセラーキャンディ「ミルクィー」のパッケージでもおなじみの彼女は、不二家の顔として、頭をゆらゆらゆらしながら、変わらぬ笑顔で今日も街ゆく皆さんを見守ります。